

教科(科目)	英語(英語コミュニケーションⅠ)	単位数	4単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	文英堂『Grove English Communication I』				
副教材等	文英堂『Grove English Communication I WORKBOOK』、三省堂『クラウン チャンクで英単語 Standard 第2版』、いっずな書店『Listening Scope BASIC』、三省堂『MYWAY マイウェイ総合英語』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協動的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協動的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができ、また、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ち、課題の解決策などを論理的に詳しく伝えることができる。

3 指導の重点

- ① 自分ごととして考えられる身近な素材について、思考を深め、問題解決に向かう学びを目指します。
- ② 話題（テーマ）を中心に言語活動を行いながら、英語でのやりとりを通して理解を深めていきます。
- ③ 5つの領域（聞く、読む、話す〔やりとり〕、話す〔発表〕、書く）ごとに、目標を明確にして学んでいきます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 - 英語の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会課題について、英語で情報や考えなどの概要や要点などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 - ペーパーテスト - パフォーマンステスト - 課題テスト - 小テスト などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 - ペーパーテスト - パフォーマンステスト - 課題テスト - 言語活動への取組 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 - ペーパーテスト - パフォーマンステスト - 課題テスト - 言語活動への取組 - ワークブック - 振り返りシート などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを話して伝え合う	13「話すこと [やり取り]」	Communication with People around the World	英語であいさつでき「すみません」を場面、状況に応じて英語で伝える。	a、b、c	課題テスト パフォーマンステスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート
5	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	10 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」	Pets and Humans: Together through Time	ペットや動物などについて英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	ペーパーテスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック
6	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを伝える	13 「話すこと [発表]」	Musubi - Ties and Knots	日本人の結びについて自分の意見を英語で伝える。	a、b、c	パフォーマンステスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート
7	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	10「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」	The Power of Mushrooms	森の中でのキノコの役割について英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	ペーパーテスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック
9	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを話して伝え合う	13 「話すこと [やり取り]」	Braille Neue: Connecting Dots with Lines	高橋さんになりきってインタビューに英語で答える。	a、b、c	パフォーマンステスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート
10	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	10「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」	Is This Meat Real or Fake?	フードテックについて英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	ペーパーテスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック
11	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを伝える	13「話すこと [発表]」	Plastic Polluting our Oceans	プラスチックが海に与える影響について英語で説明する。	a、b、c	パフォーマンステスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート
12	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	10 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」	Manga:A Global Hit!	世界に広がるマンガについて英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	ペーパーテスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック
1	聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを話して伝えたり、質問したりする	14「話すこと [やり取り]」 [発表]」	Greta Thunberg: No One Is Too Small to Make a Difference	地域の問題についてプレゼンテーションを行う。	a、b、c	課題テスト パフォーマンステスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート

2	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	11「聞くこと」「読むこと」「書くこと」	The Mysteries and Secrets of Petra	ペトラ遺跡について英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	ペーパーテスト 小テスト 言語活動への取組 ワークブック
3	聞いたり読んだりして、必要な情報、概要等を捉えたり、情報や考えを書いて伝える	11「聞くこと」「読むこと」「書くこと」	Hairspray	映画 <i>Hairspray</i> について英語で読み取ったり、書いたりする。	a、b、c	小テスト 言語活動への取組 ワークブック 振り返りシート

計 128 時間 (55 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」 28 時間	「読むこと」 28 時間	「話すこと [やり取り]」 22 時間	「話すこと [発表]」 22 時間	「書くこと」 28 時間
-----------------	-----------------	-----------------	------------------------	----------------------	-----------------

7 課題・提出物等

- ・教科書『Grove English Communication I』について、レッスンごとにペーパーテスト、パフォーマンステストがあります。テストごとに『Grove English Communication I WORKBOOK』の提出があります。また、パフォーマンステストごとに振り返りシートの提出があります。
- ・副教材『クラウン チャンクで英単語 Standard 第2版』について、週の最初にテストがあります。
- ・副教材『Listening Scope BASIC』について、週の最後に活動があります。活動ごとに提出用回答シートの提出があります。

8 担当者からの一言

コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、聞く、読む、話す、書くことができるように、英語のチャンクを意識しながら学んでいきましょう。チャンクは「意味的にまとまっている語句のかたまり」のことです。会話や文章において、あるチャンクが別のチャンクを連鎖反応的に呼び起こし、意味のある流れを作り出していきます。そのため、英語のチャンクをたくさん学ぶことで、チャンクごとに区切って情報や考えなどを的確に理解したり、チャンクを組み合わせで自分の考えや気持ちを適切に表現したりすることができるようになります。

また、何事も基礎・基本がとても大切になります。英語の基礎・基本は、小・中学校段階で習った語句や文構造、文法事項のことです。声に出しながら繰り返し復習し、英語上級者になるために必要な圧倒的な基礎力を身に付けていきましょう。